

(別紙3)

発大総福第1049号

令和6年8月8日

大山町福祉センターなかやま
社会福祉法人 大山町社会福祉協議会
会長 大原 毅 様

大山町長 竹口 大紀
(公 印 省 略)

令和5年度「大山町福祉センターなかやま」指定管理者業務評価書

施設名	大山町立ふるさとフォーラムなかやまいきいき倶楽部 大山町福祉センターなかやま
施設所管課	総合福祉課
指定管理者名	社会福祉法人 大山町社会福祉協議会
指定期間	平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (5年目)

【モニタリング終了後の総評】

【施設所管課】

- ・社会福祉協議会の事業拠点が他支所に移ったことにより、施設利用者数・事業開催回数ともに減少している。広報活動や独自事業開催等検討いただき、施設利用の増加を図っていただきたい。
- ・築年数が経過した建物であるため、大小様々な修繕箇所が出てくるが、日頃の点検と計画的な修繕を行い、安全で快適な施設利用につながるように、引き続き努めていただきたい。

【第三者評価】

- ・令和5年度の実績報告を受けたが、特段の問題なし。

【今後の業務改善方策等の特記事項】

【施設所管課】

- ・特になし。

【第三者評価】

- ・特になし。

令和 5 年度「大山町福祉センターなかやま」モニタリング評価表

施設名	大山町立ふるさとフォーラムなかやまいきいき倶楽部大山町福祉センターなかやま		
施設所管課	総合福祉 課		
指定管理者名	団体名	社会福祉法人 大山町社会福祉協議会	
	所在地	西伯郡大山町末長503	
指定期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日		
選定方法	公募 ・ 非公募		
施設の設置目的	町民及び町内各種団体の健康の増進、教養の向上及びレクリエーション等のための便宜を総合的に供与し、もってその福祉の向上に寄与する。		
主な実施事業	(1) 高齢者等の支援に関すること。(2) 生活文化の醸成に関すること。(3) 交流活動の推進に関すること。(4) 健康増進とレクリエーションに関すること。		

評価項目	評価基準	評価	特記事項
I 履行の確認(65点)			
1 施設全般の管理運営に関する業務			
(1)管理体制	施設の管理体制が明確になっており、基準に基づいた適切な人員配置がなされているか	B	適切に配置がなされている
	安全対策、危機管理体制などが十分に講じられているか	B	各部屋に避難経路図が掲示されている
(2)職員研修	職員の業務に必要な資質・能力の向上を図るための研修・教育が適切に行われたか	B	適切に行われている
(3)利用促進業務	利用者拡大のための利用促進業務が適切に行われたか	B	適切に行われている
2 利用者に関する業務			
(1)利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準であるか ※1	B	
(2)利用者の要望把握等	利用者の要望の把握及びその実現策は適切に行われているか	B	アンケート調査票が設置されている
3 保守点検及び清掃等の業務			
(1)保守点検業務	基準に基づき、保守点検が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている
(2)清掃・維持業務	基準に基づき、清掃業務・維持管理が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている

	(3)保安・警備業務	基準に基づき、保安・警備業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている
	(4)修繕業務	基準に基づき、修繕業務が適切に行われたか 第三者に行わせる業務は必要最小限の範囲か	B	適切に行われている
	4 自主事業の実施に関する業務	事業計画書に沿った自主事業が適切に行われたか	B	適切に実施されている
	5 情報公開・個人情報にかか る措置	情報公開・個人情報保護に係る措置は適切に行 われたか	B	適切に行われている
	6 管理目標	施設の現状を正しく認識し、今後の在り方につ いての提案は具体化されているか	B	
II サービスの質の評価(25点)				
	1 利用者満足度	利用者へのサービスの質を維持・向上させるための 提案は具体化されているか 利用者アンケート等を実施し、その結果は妥当であ るか	B	妥当である
	2 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理、備品などの設備の維持管 理は適正に行われ、良好な状態で施設の利用が行わ れているか	B	良好
	3 運営業務	事業運営について、サービス水準の向上のための創 意工夫が見られるか 利用許可などの利用者への接客・対応は適切である か	B	適切である
	4 自主事業	実施された事業内容は、施設の設置目的に沿い、 サービス水準の向上に寄与する質の高いものである か	B	設置目的に沿ったものである。
	5 施設の効用	施設の効用を最大限に発揮し、設置目的の達成に資 することができる管理運営内容であったか	B	設置目的の達成に資するもので あった
III サービスの安全性の評価(10点)				
	1 事業収支	指定管理業務の事業収支は妥当であるか ※2	B	
	2 経営状況	指定管理業務の経営状況分析指標の結果は妥当であ るか ※3	B	
【総評(所管課評価)】 社会福祉協議会の事業拠点が他支所に移ったことにより、施設利用 者数・事業開催回数ともに減少している。広報活動や独自事業開催 等検討いただき、施設利用の増加を図っていただきたい。 築年数が経過した建物であるため、大小様々な修繕箇所が出てくる が、日頃の点検と計画的な修繕を行い、安全で快適な施設利用につ ながるように、引き続き努めていただきたい。			合計点 (60) 点 / (100) 点 $\times 100 = (60)$ 平均点 (3.0)	

※施設の性格や設置目的により、評価項目は追加、変更できる。

- ※評価区分
- A (優良) = 協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。 (5点)
 - B (良好) = 協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である (3点)
 - C (課題含) = 協定書等の基準を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。 (1点)
 - D (要改善) = 協定書等の基準を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。 (0点)

※特記事項欄は、評価を行った確認方法(例:立入調査、台帳確認、資料等確認)と当該評価を行った理由を記載する。

※総評欄は、事業計画書等との整合性を検証し、評価、業務の改善方策等を記入する。

【補足資料】

※1 利用状況

項 目	本年度（令和5年4月 ～令和6年3月） A	前年度（令和4年4月 ～令和5年3月） B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
開館日数	242 日	246 日	▲ 4、 98.4 (%)	
施設利用者数	619 人	788 人	▲ 169、 78.6 (%)	社協事業の拠点が他支所へ変更となった。天人数のイベントが減少。
施設稼働率	66.3 %	67.4 %	▲ 1.1、 98.4 (%)	
事業開催数	62 回	81 回	▲ 19、 76.5 (%)	社協事業の拠点が他支所へ変更となった。

※2 事業収支

(1) 収入

項 目	本年度（令和5年4月 ～令和6年3月） A	前年度（令和4年4月 ～令和5年3月） B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
利用料収入	3,575	0	3,575、 #DIV/0!	
指定管理料	5,274,000	5,274,000	0、 100.0 (%)	
			(%)	
			(%)	
			(%)	
その他	0	0	(%)	
合計	5,277,575	5,274,000	3,575、 100.1 (%)	

(2) 支出

項 目	本年度（令和5年4月 ～令和6年3月） A	前年度（令和4年4月 ～令和5年3月） B	対比 A-B、A/B	対比が±20%を超える 場合は増減理由を記載
人件費	0	0	(%)	
消耗品費	74,898	86,081	▲ 11,183、 87.0 (%)	
光熱水費	1,168,392	1,233,749	▲ 65,357、 94.7 (%)	
燃料代	753,668	760,749	▲ 7,081、 99.1 (%)	
賃借料	69,348	75,127	▲ 5,779、 92.3 (%)	
修繕費	683,002	483,382	199,620、 141.3 (%)	経年劣化により水回りの修理箇所が多かった。
通信運搬費	132,035	128,613	3,422、 102.7 (%)	
業務委託費	4,008,912	3,666,674	342,238、 109.3 (%)	
合計	6,890,255	6,434,375	455,880、 107.1 (%)	

※ 3 経営状況分析指標

項目	本年度（令和5年4月 ～令和6年3月） A	前年度（令和4年4月 ～令和5年3月） B	対比 A-B、A/B	備考
①事業収支	-1,612,680 円	-1,160,375 円	▲ 452,305、 139.0 (%)	修繕費、清掃業務委託費の増加
②利用料金比率	0.1 %	0.0 %	0、 #DIV/0!	
③人件費比率	0.0 %	0.0 %	(%)	
④外部委託費比率	58.2 %	57.0 %	0、 102.1 (%)	
⑤利用者当たり 管理コスト	11,131 円	8,165 円	2,966、 136.3 (%)	利用人数が減少及び、 修繕費業務委託費が増 加したため
⑥利用者当たり 自治体負担コスト	8,520 円	6,693 円	1,827、 127.3 (%)	社協の事業拠点が変更 になり、利用回数が減 少したため。

① 事業収支： (収入－支出)

事業全体が黒字で施設の管理運営ができていのかどうか確認する。赤字の場合は、管理継続性の面での課題を解決し、黒字化のための方策を検討する。

② 利用料金比率： (利用料金収入／収入)

収入に占める利用料金の割合。指定管理者の収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを確認する。

③ 人件費率： (人件費／支出)

支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が減らされすぎていないか、又は費用がかかりすぎていないかを確認する。

④ 外部委託比率 (外部委託費合計／支出)

支出に占める外部委託費の割合。外部委託に過度にシフトしていないかを確認する。

⑤ 利用者当たり管理コスト： (支出／延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

⑥ 利用者当たり自治体負担コスト： (指定管理料／延べ利用者数)

利用者1人当たりにかかる自治体の費用。前年度や事業計画との比較、類似施設との比較により施設の効率性を確認する。

4 利用者からの苦情の内容とそれに対する町・指定管理者の対応や町から指定管理者への指導状況

苦情) 2階の会議室で研修会等を行う際に、来館者の駐車スペースが足りない。
対応) 職員駐車場や友好館の駐車場、福祉センター周辺公共スペースに駐車してもらい、対応済み。

5 利用者アンケートの結果

特に意見なし